

# 令和2年度施政方針

2月21日から3月19日まで、令和2年市議会第1回定例会が開かれました。初日の本会議の冒頭に行われた令和2年度施政方針演述の中で戸田公明市長は、「復興の総仕上げ」を強く意識し、生産性の向上による市内経済の底上げや地区と行政の協働、本市への人やモノの流れの促進などに意を配しながら、「人口の減少・高齢化に対応し得る地域力の向上」と、「地域産業の活性化による市民所得の向上」を目指し、「オール大船渡」のパワーを培い、多くの皆様との協働を強化しつつ、「大船渡」を持続可能なものとするため、誠心誠意、不退転の決意をもって市政運営に取り組むと述べました。

以下、施政方針演述の中から、令和2年度の主な取り組みについて、大船渡市総合計画の大綱別にお知らせします。

## 1 豊かな市民生活を 実現する産業の振興

- ILC早期の誘致・実現を図るため、「ILCと共生するまちづくりビジョン」と「ILCアクションプラン」の諸施策を推進
- 起業・第二創業する事業者に対する新たな店舗改装費などの費用の一部を助成
- 新たな資源や低利用資源の有効活用、夏イチゴの生産・担い手育成などの取り組みにより、産業化に結び付ける仕組みの確立を促進
- (仮称)甫嶺復興交流推進センターの施設整備により、観光の活性化や交流人口の増加を促進
- 水産資源の適切な管理や漁



越喜来浦浜地区に建設中の夏イチゴ生産・担い手育成拠点施設

- 業所得の向上、漁業担い手の育成・確保などにつながる取り組みを推進
- サケふ化放流事業やアワビ増殖事業、磯焼け対策として実施する藻場の環境保全などの取り組みを支援
- 新たな養殖対象種導入に係る調査・検討を実施
- 泊里漁港の新たな整備計画のほか、漁港および海岸保全施設の機能保全計画を策定
- 農地の効率的な利用や担い手の育成・確保を推進
- 防護網・電気柵の普及やICT(情報通信技術)を活用した有害捕獲の実施などにより、鳥獣被害対策を推進
- 市内の私有林などの基本管理計画を策定し、森林所有者による経営が困難な森林の適正な管理を推進

- 大船渡駅周辺地区において、魅力と賑わいのあるまちづくりの具現化に向けた取り組みを促進
- 北里大学、立命館大学、明治大学、岩手大学および岩手県立大学との連携強化
- 三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルなどを生かした誘客拡大に向けた取り組み

## 2 安心が確保された まちづくりの推進

- 新たに「移住コーディネーター」を配置し、移住・定住に関する情報発信と相談対応の充実などの取り組みを推進
- 市内事業所に就職した新規卒業者やU・I・J・ターン者へ就職奨励金を交付
- 市内対象企業に就業又は起業した東京圏からの移住者に対して移住支援金を交付
- 災害公営住宅入居者に対する健康見守りや被災者の心身のケア対策により、生活再建を支援
- 「ワーク・ライフ・バランス」の啓発により、女性の活躍を促進する取り組みを推進
- 気軽に交流できる社会人サークルの活動の支援などを通じて多様な出会いの場を創出
- 子育て世代包括支援センターを中核とした相談対応の充実を図り、産後ケア事業を新たに実施
- 「産婦人科・小児科オンライン」、乳幼児健康診査など

## 3 豊かな心を育む 人づくりの推進

- 市民文化会館と図書館の施設本体や舞台設備などを計画的に修繕および更新

の実施による母子の健康保持・増進

- 保育所などを利用する3歳以上の幼児の副食費を無償化
- 本年8月から、乳幼児から高校生までの医療費助成における所得制限を撤廃
- 健康教育や保健指導、各種検診・健康診査の受診を促進

- ジェネリック医薬品の普及や特定健康診査の受診率向上を図る取り組みを推進
- 未来かなえネットへの加入者拡大に向けた取り組みに対する支援など、医療や介護分野の連携を推進
- 新たに(仮称)大船渡市成年後見支援センターを設置し、成年後見制度の普及・啓発を推進
- 「地域助け合い協議会」において、地区および地域全体で高齢者の生活を支援する体制の構築に向けた取り組みを促進

- 老朽化した移動図書館車を更新

- 第一中学校の校舎および屋内運動場の改築に係る実施設計に着手

- 日頃市、越喜来および吉浜地区と第一中学校間にスクールバスを運行

- 赤崎グラウンドを中心としたスポーツイベントの誘致を推進

- 東京2020オリンピック・パラリンピックを通じて、米国を相手国とする「復興『ありがとう』ホストタウン」事業など、関連事業を展開

- ユネスコ無形文化遺産に登録された「吉浜のスネカ」をはじめ、地域固有の伝統行事や芸能の継承を促進

## 4 潤いに満ちた快適な 都市環境の創造

- 細浦地区の内水排水対策事業や中赤崎地区のスポーツ交流ゾーンの用地整備に係る敷均し工事の実施など、土地利用計画の具現化に向けた取り組みを実施
- 大船渡駅周辺地区におけるエリアマネジメントや土地所有者と利用希望者との

- マッチングなどの取り組みを促進
- 新たに「大船渡市空家等対策計画」を策定し、計画に基づく各種施策を推進
- 多面的な効果が見込まれる住宅リフォーム助成制度を継続実施
- クルーズ客船の誘致や入港歓迎行事などの取り組みを通じて、「みなとオアシス」としての交流・賑わいを創出
- 三陸沿岸道路の全線開通、国道107号の改良整備の事業化、国道397号・343号、主要地方道大船渡広田陸前高田線および大船渡綾里三陸線の整備などを国・県に強く働きかけ
- 中赤崎地区・山口地区の道路新設改良、中井下欠線の道路改良など、市道の新設・改良整備などを推進
- 上水道における日頃市町での配水管布設など、未給水地域の解消や高台地域の水圧不足対策を推進
- コンパクトな拠点形成と公共交通などによるネットワーク化を進めるため、立地適正化計画策定を推進
- デマンド交通などの公共交

## 5 やすらぎある安全な まちづくりの推進



3月14日に供用を開始した田茂山駅

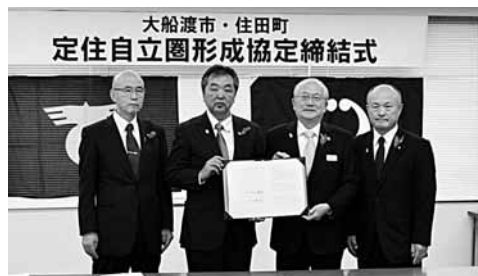
- 新たに豪雨による洪水や土砂災害を想定した防災訓練を実施
- 洪水浸水想定区域や土砂災害危険箇所的基础調査結果などを踏まえ、ハザードマップを作成
- 赤崎町中井地区および永浜地区の避難路整備事業を推進
- 震災の教訓を後世に伝承するため、(仮称)防災学習セ

## 6 自然豊かな環境の 保全と創造

- 「脱炭素」に係る全市の取り組みを検討
- 再生可能エネルギー関連事業への支援を推進
- 大船渡湾域の水質調査の継続と併せて、総合的な水質改善対策の立案に向けた取り組みを推進
- 猪川・下船渡地区の公共下水道整備を推進
- 綾里地区漁業集落環境整備事業の実施に向けた事業構想、基本計画などを策定
- プラスチック類などを再利用ごみとして活用する一般廃棄物試験分別収集事業を継続実施しながら、住田町との広域による実施を検討

## 7 自立した 行政経営の確立

- 令和3年度を初年度とする新たな「総合計画」を策定
- 地域づくり住民ワーク



令和元年10月に住田町と定住自立圏形成協定を締結しました

(3) 広報大船渡 令和2年4月10日号(No. 1172)